



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media



山口情報芸術センター[YCAM] 2021年度事業主催 イベント

山口情報芸術センター [YCAM] では、2003年の開館以来、メディア・テクノロジーと表現の関係を探究する活動を、展覧会や公演、ワークショップや映画上映といった形で展開してきました。

2020年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症。この未曾有の厄災は、医学的な観点はもとより、生活様式、経済活動、そして文化芸術活動へも多大な影響を与えていることは間違いありません。様々な困難が目まぐるしく世界のありようを変化させていく。それがいまの私たちが暮らしている時代・環境です。

しかし、人類はこれまでも変化する環境に対応して文明・文化のバトンを繋げてきました。これまでのやり方が通用しなかったとしても、状況をつぶさに洞察し、慎重に検討しながら次の一歩を踏み出し、よりよい方向を探るという「創造性」によって、いつの時代においても未来を切り開いてきました。YCAMはこれからも、この挑戦に貢献するべく活動を続けていきます。YCAMの各種取り組みに関心を寄せていただき、機会があればぜひ活動にご参加ください。

2021年度主催イベント

quartets online	開催中～9月
<small>ホー・ツーニエン(YCAMとのコラボレーション)</small> ヴォイス・オブ・ヴォイド——虚無の声	4～7月
YCAMスポーツハッカソン2021	5月
第6回 未来の山口の運動会	5月
YCAM Dance Crew	6～7月
<small>YCAM performance lounge #7</small> 搬入プロジェクト 山口・中園町計画	7月
鑑賞ナビゲーターキャンプ2021	8月
真夏の夜の星空上映会2021	8月
YCAM爆音映画祭2021	8月
<small>ハイバイ</small> ヒッキー・カンクーントルネード	9月
<small>セラム</small> クリクラボ (仮)	9～12月
<small>坂本龍一</small> ART-ENVIRONMENT-LIFE 2021	10～1月
わたしもアートがわからない	10、2月
キキミミチャンネル	10～1月
<small>小泉明郎</small> 縛られたプロメテウス	10月
ネットにくらす、私のひみつ	11～1月
YCAMオープンラボ2021	11月
<small>sound tectonics #25</small> VERNACULAR VIBES	12月
食と倫理・リサーチ [リサーチ・ショーケース]	1～4月
ショートショート国際フィルムフェスティバル 山口	2月
<small>近藤芳正 Solo Work</small> ナイフ	2月
YCAMシネマ	通年開催

quartets online

開催中 — 2021年9月8日(水)

更新されつづけるアンサンブル

音楽家の大友良英をはじめとする数多くのアーティストの共作によるインスタレーション作品《quartets》のオンライン版《quartets online》を発表する展覧会です。

2008年にYCAMが発表した音楽家・大友良英らのインスタレーション作品《quartets》をオンラインならではの作品に再構成したもので、無限の即興演奏をインターネットを介して鑑賞者各自の端末でいつでも体験できます。



ホー・ツーニエン (YCAMとのコラボレーション)

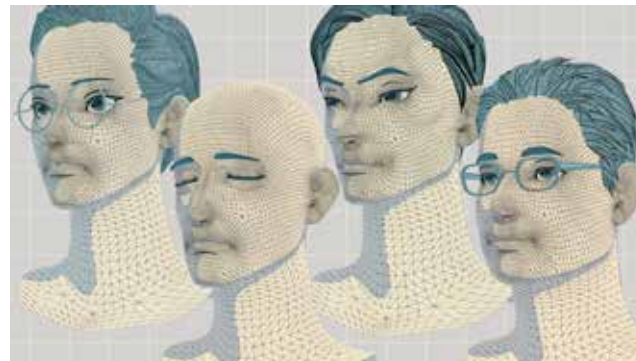
ヴォイス・オブ・ヴォイド — 虚無の声

2021年4月3日(土) — 7月4日(日)

アニメーションとVRによる歴史の再演

シンガポールを拠点に活躍するアーティスト、ホー・ツーニエンによる新作インスタレーションを発表する展覧会です。

哲学者・思想家の西田幾多郎や田辺元を中心に形成されたグループで、1930年代から40年代の日本の思想界で大きな影響力を持った「京都学派」をテーマに、YCAMとのコラボレーションのもと、アニメーションとVR(ヴァーチャル・リアリティ)を用いた新作の映像インスタレーションを発表します。



作品に登場する高山岩男、西谷啓治、鈴木成高、高坂正顕の3Dモデル

YCAMスポーツハッカソン2021

2021年5月2日(日) — 5日(水・祝)

「デベロップレイ」で運動会をハックせよ

想像力とメディア・テクノロジーを駆使して新しいスポーツのアイデアを実現する、4日間のスポーツクリエイション合宿です。

このイベントでは、開発(デベロップ)と実践(プレイ)を繰り返す「デベロップレイ」と呼ばれる制作手法を用いて、まだ見ぬ運動会競技を開発。そして開発した競技を実際に楽しむ運動会「第6回 未来の山口の運動会」の開催を目指します。運動会競技や運動会の制作を通じて、他の参加者と知識や経験を共有しながら創造する「共創」について理解を深める機会となるでしょう。



「YCAMスポーツハッカソン2019」の様子(2019年)
撮影:田邊アツシ

第6回 未来の山口の運動会

2021年5月4日(火・祝)

全種目が世界初実施の超・最先端の運動会!

「YCAMスポーツハッカソン2021」で生み出されたスポーツを体験する運動会形式のイベントです。

6回目の開催となる今回も、さまざまなアイデアが詰め込まれた「未来の運動会」の種目が多数登場。参加者はチームに分かれ、勝敗を競っていきます。大人も子どもも、お年寄りも、学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う「未来の運動会」で、白熱したひとときを過ごしませんか?



「第4回 未来の山口の運動会」の様子(2019年)
撮影:谷康弘

YCAM Dance Crew

2021年6月26日(土) — 7月25日(日)

同時代におけるメディアとダンスの関係を探る

ダンスの記録撮影やシェアを気軽におこなうことができるスペースです。

センサーなどが埋め込まれた専用のブースでダンスをおこなうと、瞬時にダンスを撮影し、踊っている人の動きが検出されます。その結果をもとに、CGによる視覚効果(エフェクト)がダンスに合成され、さらにその映像をダウンロードすることができます。会期中にはこのシステムを用いた振付家によるワークショップも開催。SNSやスマートフォンなど、今日のツールによって生み出される新しいダンスのかたちを探していきます。



笠原俊一+YCAMによるインスタレーション作品
《RADICAL BODIES-VRでダンス・ダンス》(2017年)
撮影:山中慎太郎(Qsym!)

YCAM performance lounge #7

搬入プロジェクト 山口・中園町計画

2021年7月24日(土)

巨大物体をYCAMに搬入せよ

現在生まれつつある新しい身体表現の魅力をダイレクトに伝えるシリーズ企画「YCAM performance lounge (パフォーマンス・ラウンジ)」の第7弾です。

パフォーマンス集団・悪魔のしるしの代表的な演劇プロジェクトのひとつ《搬入プロジェクト》を実施します。本作は、建物内にかろうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入する様子を演劇として提示する作品で、これまでに世界各国の20箇所以上で実施されてきました。今回実施するのはYCAMが、YCAMの建物に合わせてアレンジしたものととなります。



京都市立芸術大学での実験の様子(2019年)
撮影:吉見峻

鑑賞ナビゲーターキャンプ2021

2021年8月7日(土)、8日(日・祝)

グループで対話を深めるスキルを養う2日間

芸術作品を通じた対話を楽しむ場を運営するために必要なスキルを習得する2日間のイベントです。

企業内人材育成や教育現場などで対話型鑑賞法を実践したいと考えている方を対象に鑑賞教育の専門家を講師に迎え、グループで対話を通して芸術作品を鑑賞する手法や対話型鑑賞法についてのレクチャーやワークショップをおこないます。



「アートってどうみたらいいの?と思ったことがある人へ」の様子(2020年)
撮影:谷康弘

真夏の夜の星空上映会2021

2021年8月13日(金) — 15日(日)

YCAM夏の風物詩

YCAMに隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。

心地よい夜風と星空の下、映画を鑑賞する夏ならではの上映会です。多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せています。2021年も3日間に渡って3本の映画を上映します。



「真夏の夜の星空上映会」の様子(2020年)
撮影:谷康弘

YCAM爆音映画祭2021

2021年8月27日(金) — 29日(日)

日本最強の爆音映画祭

ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞する上映イベントです。

国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、これまで気づくことのなかった作品内で追求されているサウンド面の「核心」を、物語や、画面上の構成とともに体感する、これまでにない映画体験を創造します。



「YCAM爆音映画祭2020」の様子(2020年)
撮影:谷康弘

ハイバイ

ヒッキー・カンクーントルネード

2021年9月10日(金)、11日(土)

生々しくも笑えるコメディ

劇作家/演出家の岩井秀人が主宰する劇団・ハイバイの演劇作品を発表する公演です。

本作は岩井自身の引きこもり経験を元に描いた処女作で、これまでに再演を繰り返しながらブラッシュアップされてきたハイバイの代表作のひとつです。プロレスラーを夢見る引きこもりの登美男と、理解者である妹、外に出そうとする母親との平和な日常は、「出張お兄さん」の登場で一変する——。今回は待望の山口初上演となります。



©青木司



撮影:山中隼太郎(Osyum!)

セラム

クリクラボ(仮)

2021年9月18日(土) — 12月19日(日)

セラムの活動を紹介する日本初の展覧会

インドネシアのジョグジャカルタを拠点に活動するアーティスト・コレクティブ、セラム(Serrum)による展覧会です。

セラムは、メンバーのほとんどが美術教師としての教育課程を修了しており、美術と教育のための活動を15年ほど積極的に展開してきました。「共生」と「移動する学び場」をキーワードとする本展覧会では、セラムのこれまでの作品を紹介するとともに、アート、教育、市民性について批判的に思考し、議論するための新たなプラットフォームを創出します。



Serrum, Pasar Ilmu (Knowledge Market) at 2017 Asian Art Biennale - Negotiating the Future
©Photo: Courtesy of National Taiwan Museum of Fine Arts

坂本龍一

ART-ENVIRONMENT-LIFE 2021

2021年10月8日(金) — 2022年1月30日(日)

いま、改めて見つめ直す〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉

音楽家の坂本龍一が、アーティストの高谷史郎とのコラボレーションのもと、2013年のYCAM10周年記念祭にYCAMで制作・発表した3作品を展示する展覧会です。

山口市をはじめとする山口県央連携都市圏域で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」の一環として開催します。自然や、そこで暮らす人の営みによって生み出された景観とともに作品を鑑賞することで、日常の中で見落とされている繊細な変化や、大きな時間の流れへの洞察が呼び起こされるでしょう。



展示作品のひとつ、坂本龍一+高谷史郎《water state 1》(2020年)
撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

わたしもアートがわからない

vol.1 2021年10月9日(土)

vol.2 2022年2月5日(土)

作品の魅力を発見するコツをお伝えします！

芸術作品をより楽しみ、理解を深めるためのイベントです。作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、ワークショップや作品の鑑賞会などを交えながらお伝えします。



「アートってどうみたらいいの?と思ったことがある人へ」の様子(2020年)
撮影:谷康弘

キキミミチャンネル

2021年10月 — 2022年1月(期間中12回開催)

アートを起点に、人と人が対話を交わす場

芸術作品の鑑賞を通じて「未知なるものを面白がる力」を育むための、対話型のイベントです。

スタッフとともに、YCAMで開催中の上映や展覧会などを鑑賞したうえで、参加者がじっくり考えたり、互いに感想を交換したりしながら、対話を重ねていきます。



「地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」の様子(2014年)
撮影:丸尾隆一(YCAM)

小泉明郎

縛られたプロメテウス

2021年10月23日(土)、24日(日)

仮想現実が生み出す、陶酔と覚醒

アーティスト小泉明郎によるVRを用いた演劇公演です。国家・共同体と個人の関係、人間の身体と感情の関係について、現実と虚構を織り交ぜたアプローチで作品を発表する小泉明郎。本作はギリシャ悲劇『縛られたプロメテウス』(アイスキュロス作)をベースに神話的時間から発想された近未来の中で、観客は「他者」の感覚や感情を追体験していきます。同時代の技術が融合した仮想世界から物理世界へと移動することで、古典的名作と結びついた「他者」の物語が観客に迫ります。



©あいちトリエンナーレ2019
撮影:佐藤駿

ネットにくらす、私のひみつ

2021年11月 — 2022年1月(期間中12回開催)

ネットのなかの「私」に目を向けてみよう

インターネットにおける個人情報の扱われ方について考えるワークショップです。参加者はインターネット上のデータを手がかりとした推理ゲームや、模擬的な広告制作などのアクティビティをおこなうながら、インターネットに支えられた自身の日常を振り返ります。これにより、今後求められるテクノロジーや自身のアイデンティのあり方、コミュニティ形成などについて意見を交わすとともに、今日の情報化社会についての理解を深めていきます。



ワークショップ「私はネットでできている?」の様子(2021年)
撮影:ヨシガカズマ

YCAMオープンラボ2021

2021年11月26日(金) — 28日(日)

世界のラボと考える芸術と教育の新たな可能性

トークイベントを軸に、展示やライブコンサート、ワークショップなどを通じて、YCAMの研究開発活動を体験できる複合型のイベントです。

5回目の開催となる今回は、「オルタナティブ・エデュケーション」をテーマに、関連する実践をおこなっている専門家を国内外から招聘。アートセンターの役割、アートと都市開発との関係性、学びのための道具としてのアートについて議論を展開していきます。



「YCAMオープンラボ2019:ナマモノのあつかいかた」の様子(2019年)
撮影:谷康弘

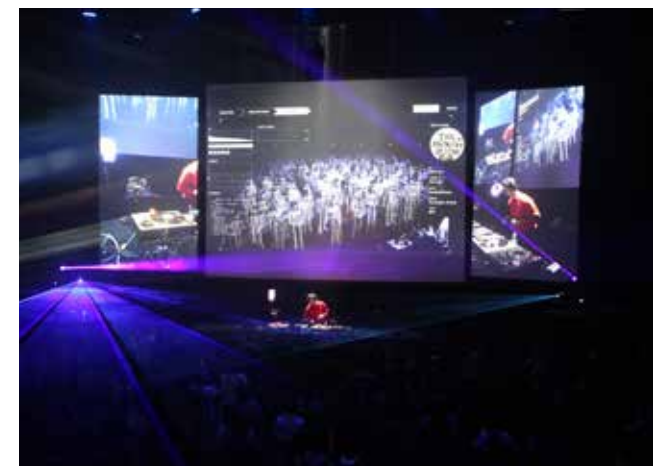
sound tectonics #25

VERNACULAR VIBES (バナキュラー・バイブス)

2021年12月4日(土)

日用品から始まる音の冒険

サウンドアートや音楽など音に関する異なる領域から、新しい聴取体験を提供するライブコンサートシリーズ「sound tectonics(サウンド・テクトニクス)」の第25弾です。今回は日用品など身の回りに溢れたさまざまな要素を主な楽器として用いるエレクトロニクス・ファンタスティクス!とサビナ・アンを招聘し、サウンド制作における個々の生活に深く根ざした側面を提示します。彼らのサウンドの中にある無限の可能性を体験し、探求する機会となるでしょう。



「sound tectonics #20: AIDJ vs HumanDJ」の様子(2017年)
撮影:谷康弘

食と倫理・リサーチ [リサーチ・ショーケース]

2022年1月15日(土) — 4月2日(土)

革新が続く「食」の現在地を探る

「食」とそれを取り巻く倫理的側面との関係について調査研究するプロジェクト「食と倫理・リサーチプロジェクト」の研究発表を公表する展覧会です。

2021年度は、「災害」と「バイオテクノロジー」という2つのトピックに焦点を当て、倫理とサステナビリティの側面から食についてのリサーチを展開します。展覧会では、その成果をまとめた論文や雑誌などを資料とともにご紹介します。



「YCAMバイオ・リサーチ [リサーチ・ショーケース]」の様子(2019年)
撮影: 谷康弘

ショートショート国際フィルムフェスティバル 山口

2022年2月9日(木) — 13日(日)

アジア最大級の短編映画の祭典が山口に登場!

アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート国際フィルムフェスティバル」の作品を紹介する上映会です。

地方では鑑賞の機会が少ない短編映画を多数紹介することで、短編映画だからこそできる表現の可能性に触れる機会を創出するとともに、映画鑑賞のきっかけとなるような関連イベントを多数開催します。



近藤芳正 Solo Work

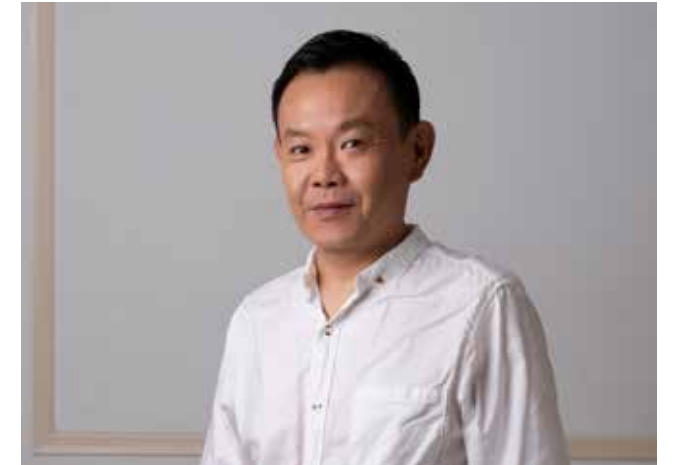
ナイフ

2022年2月13日(日)

近藤芳正の新作公演を山口初上演!

ドラマ、舞台と幅広い分野で活躍している俳優としても、またプロデュースや演出も手掛ける近藤芳正のひとり芝居を上演する公演です。

作家・重松清の坪田譲治文学賞を受賞した小説『ナイフ』を原作に、父親、母親、息子、教師など全ての登場人物を近藤芳正が一人で演じます。登場人物たちの拙くも必死な日常を描いた物語と一人の役者がひたむきに演じる姿が重なり合う、これまで誰も体験したことのないひとり芝居です。



YCAMシネマ

通年

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画作品を紹介する上映会です。

映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代の、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催予定です。



会場のスタジオC
撮影: 勝村祐紀



取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7
TEL : 083-901-2222
press@ycam.jp
www.ycam.jp